

1 申請者の概要

- ① 法人等の名称又は氏名：神戸市中央卸売市場本場
 - ② 住所：神戸市兵庫区中之島1丁目1番4号
 - ③ 法人の場合はその代表者の氏名：
 - ④ 連絡先（電話番号）：
（FAX番号）：
（メールアドレス）：
（担当者名）：
- } 非公表

2 食品等流通合理化事業の目標

（1）背景・事情

当本場は、市道高松線（4車線の幹線道路）により敷地が東西に分断されており、かねてより効率的な業務運営が課題となっていたが、平成16年度から21年度にかけ、西側敷地の老朽化した施設を東側敷地に移転集約する第1期工事を行い、加工物流棟、南物流センター棟、関連棟を東側敷地において整備した。

現在、西側敷地には、冷蔵庫棟のみが運用されており、物流の効率化を図るためには、東側敷地へ移転整備を行う必要がある。また、用地不足により場外に設置することを余儀なくされている買荷保管所についても、東側敷地の場内に集約する必要がある。加えて、集約先の東側敷地において、建築後30年が経過し、老朽化している水産卸売場棟、水産仲卸売場棟の再整備が必要となっている。

上記の施設について、具体的には以下のような課題を抱えており、品質管理の高度化や、物流の効率化、加工調整などの多様化する実需者ニーズに十分対応ができていない状況にある

- ① 卸売場（水産）は低温売場が不足しており、十分な温度管理ができない。
- ② 仲卸売場（水産）は開放型かつ温度管理未対応の施設であるため、品質・衛生管理に課題がある。また、空店舗が発生している一方で、通路に屋根がないため入荷・搬出車両の滞留や、保管等のスペースが不足するなど、非効率な施設となっている。
- ③ 冷蔵施設（水産・青果）は売場施設のある東側敷地と市道高松線で分断された西側敷地にあるため、作業の効率性や品質・衛生管理に課題がある。
- ④ 買荷保管所（青果）は、場内敷地に空き地がなく、場外に設置しているため、場内からは、車両により運搬する必要があり、作業の効率性や品質・衛生管理に課題がある。
- ⑤ 加工施設（青果・水産）の不足により、量販店や外食チェーン店等からの年々増加、多様化する加工ニーズに対応できず、商品の高付加価値化を図ることができていない。第1期工事で整備した加工施設は全て活用されており、当該施設を希望しながら、利用できない事業者は、店舗や場外で作業を行っており、業務の効率性や品質・衛生管理に課題がある。
- ⑥ 日本を代表とする国際貿易港の一つである神戸港では海外への農水産物の輸出基地として機能している。また、2025年春から韓国や台湾、ベトナムと国際チャーター便の運航を始める神戸空港では海外輸出基地として期待されている。一方で、当本場は産地と両輸出基地をつなぐ好立地にありながら、上記のような施設の課題により品質・衛生管理や加工といった輸出ニーズに応えられず、中継地点として十分に

機能できていない。

(2) 実現を目指す姿

今般の施設整備の取り組みにより、前掲の課題を解消し、以下の対応を実現する。

- ① 水産卸売場を低温化するとともに、水産仲卸売場を閉鎖型、低温化することにより、品質・衛生管理の高度化に資するコールドチェーン体制を構築する。
- ② 冷蔵庫棟及び買荷保管所を東側敷地に移転集約し、場内で機能的かつ効率的に商品が保管できる施設を整備することにより、場内物流の効率化及び品質管理の高度化を図る。
- ③ 新たに加工処理施設を増設することにより、商品の高付加価値化を図るとともに、年々増加、多様化する実需者のニーズに対応する。
- ④ 輸出拠点港（空港）としての神戸港、神戸空港から近い立地条件を生かし、物流の効率化及び品質管理の高度化等により、産地から輸出向け農水産物を集荷し、速やかに輸出拠点港（空港）へつなぎ輸出拡大を図る。

(3) 成果目標

①マニュアルに基づく管理の高度化

今回整備する施設に対応した品質管理規範を策定し、その規範に沿った取組を行うことにより、物流拠点としての品質管理の高度化を図り、大手量販店等の信頼をさらに高めることを目標とする。

現状(2019 年度)：現行施設に対応した規範は未策定

目標(2030 年度)：再整備後の水産卸売場に対応した規範を策定及び実施

②物流コスト等の削減

売場施設と近接した位置に冷蔵庫棟を整備する事で場内事業者の冷蔵庫棟への移動時間を削減し、移動に要する人件費削減を実現する。

現状(2019 年度)：353,472 千円／年

目標(2030 年度)：255,808 千円／年（97,664 千円／年の減、現状の約 28%削減）

③輸出の拡大

目標年度における輸出金額 1 億円以上、かつ、目標年度における過去の輸出実績の最高値の 1.5 倍以上超過

現状値（2024 年度）：6,752,977 千円／年

目標値（2030 年度）：10,129,466 千円／年（150%増）

3 食品等流通合理化事業の内容及び実施時期

(1) 食品等流通合理化事業の内容

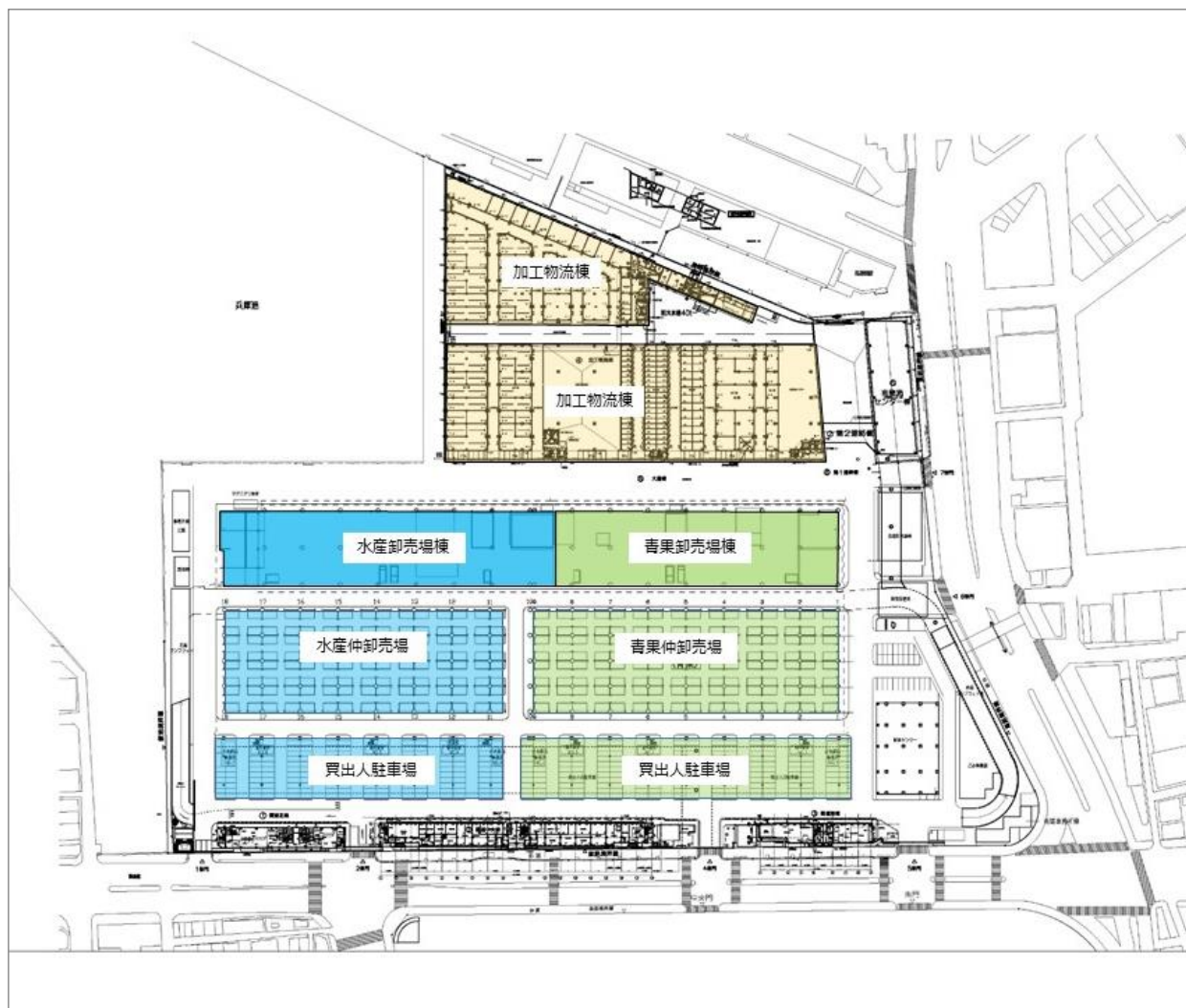
【講ずる措置の類型】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| ■ 流通の効率化（イ） | ■ 品質管理及び衛生管理の高度化（ロ） |
| □ 情報通信技術その他の技術の利用（ハ） | ■ 国内外の需要への対応（ニ） |
| ■ その他食品等の流通の合理化のために必要な措置（ホ） | |

【整備の概要】

- ・整備内容：低温卸売場、仲卸売場等の整備工事、冷蔵庫施設、加工処理施設の新設工事
（新設する冷蔵庫施設と加工処理施設の用地は、埋め立てにより、市場敷地を拡張（約2ha）して確保（現在、埋立地工事完了）。）
- ・整備期間：令和2年度（2020年度）～令和9年（2027年度）
- ・主な施設・構造：売場施設（S造平屋・金属造）11,551 m²
貯蔵・保管施設（RC造3階）18,147 m²
加工処理高度化施設（S造平屋）1,257 m²
構内舗装（アスファルト）4,594 m²

現況図



整備計画図



【具体的な取組内容】

① 品質管理及び衛生管理の高度化

○売場施設の閉鎖型低温化

水産卸売場は、鉄筋コンクリート造2階建ての水産卸売場棟の1階にあり、一部低温化区画（面積約1,100㎡）を設けているものの、規模が不足しており、建物自体は開放型で温度管理未対応の施設である。このため、1階の水産卸売場内に平屋建ての閉鎖型低温卸売場を整備し、低温化区画を約2,811㎡に拡充する。また、水産卸売場東側及び北側に風雨避けのための屋根を設置する。

水産仲卸売場は、鉄骨鉄筋コンクリート造2階建ての仲卸売場棟1階にあり、水産卸売場同様、開放型で温度管理未対応の施設である。このため、既存水産仲卸売場の1階部分に壁、シートシャッター、温度管理設備等を設けるなど、仲卸店舗、買荷保管所及び積込所として約6,580㎡の閉鎖型温度管理施設として整備する。

②流通の効率化

○場内施設の効率的な配置

商品の入荷動線は、本場南側の7門から、北西部の2門へと至る通路を場内の主要な動線として位置づけ、入出荷バースを集約し、卸売場から仲卸売場までの商品の円滑な流れ

を確保する。

卸売場、卸売場北側施設などに分散している卸売機能（せり場、生け簀、べ場、ピッキングスペース等）を既存水産卸売場に集約し、作業効率の向上を図る。

空き区画が発生している仲卸売場は、店舗区画を必要規模に集約のうえ、空き店舗区画を活用し、買荷保管所及び積込所を整備し、物流の効率化を図る。

市場敷地に隣接する公有水面の埋め立てにより敷地を確保し、鉄筋コンクリート造 3 階建ての冷蔵庫及び鉄骨造平屋建ての青果買荷保管所を売場施設等に近接して整備することで移動距離を短縮させるなど、物流の効率化を図る。

③国内外への需要への対応

○輸出拡大への取組み

すでに確立している農水産物の国内物流ルートを生かし、新たに輸出向け農水産物の集荷に努める。また、輸出実績のある水産物部・青果部や関連事業者等と情報交換を行い、市場事業者、生産者、港湾管理者、輸出事業者、JETRO 等の協力を得ながら、品質管理が高度化された冷蔵庫の整備による産地からのコールドチェーンの実現や、市場内に整備する加工場で海外輸出先商社が希望する加工（化粧箱詰め等）への対応が可能になることを活用し、輸出拡大に取り組む。

市では、令和 7 年度にシンガポールに独自に海外事務所を開く。当該事務所や JETRO シンガポールと連携して、東南アジアへの輸出、ビジネス展開を支援する。また、官民連携団体である「食都神戸」海外展開促進協議会との協力、海外現地企業との個別商談の機会を提供するほか、取引先候補企業とのマッチングなど海外への販路開拓を支援していく。さらに、商談が成立した折には、海上輸送に対する支援を行い、新たな輸出先の開拓の取り組みを進めていく。

④その他食品等の流通の合理化のために必要な措置

○加工処理施設の拡充

年々増加する量販店や外食チェーン等からの加工ニーズに対応するため、埋立地に鉄骨造平屋建ての加工処理施設を約 1,257 m²整備し、商品の高付加価値化を図る。

（2）食品等流通合理化事業の実施時期

令和 2 年 4 月 1 日～令和 13 年 3 月 31 日（2020 年 4 月 1 日～2031 年 3 月 31 日）

（3）食品等流通合理化事業を実施する事業所又は卸売市場の概要

- ① 事業所又は卸売市場の名称：神戸市中央卸売市場本場
- ② 所在地：兵庫県神戸市兵庫区中之島 1 丁目 1 番 4 号
- ③ 事業開始（開設）年月日：昭和 7 年 12 月 22 日
- ④ 事業内容：中央卸売市場（青果、水産）

（4）食品等流通合理化事業を実施するために必要な投資

実施者	年度	施設等の種類	施設等の規模・能力等 (m ² 、台、一式等)	事業費 (千円)
-----	----	--------	---------------------------------------	-------------

神戸市	R2(2020) (2021年度、2022年度に繰越し)	実施設計	実施設計（一式）	非公表
	R4(2022) (2020年度からの繰越し)	卸売場施設	塩干卸売場：1,478 m ² 実施設計（一式）	
	R6(2024)	冷蔵庫施設	冷蔵庫施設：18,147 m ²	
	R6(2024) 補正	冷蔵庫施設	冷蔵庫施設：18,147 m ²	
	R7(2025)	実施設計 冷蔵庫施設	実施設計（一式） 冷蔵庫施設：18,147 m ²	
	R8(2026)	買荷保管・積込所、 冷蔵庫、加工処理高度 化施設	青果買荷保管所：2,160 m ² 冷蔵庫施設：18,147 m ² 加工処理施設：1,257 m ²	
	R9(2027)	仲卸売場施設 卸売場施設 買荷保管・積込所、冷 蔵庫、加工処理高度化 施設 構内舗装	水産仲卸売場：3,830 m ² 水産買荷保管所：2,750 m ² 鮮魚卸売場：1,333 m ² 青果買荷保管所：2,160 m ² 冷蔵庫施設：18,147 m ² 加工処理施設：1,257 m ² 構内舗装：4,594 m ²	
計				

4 食品等流通合理化事業を実施するために必要な資金の額及びその調達方法

年度	実施者	使途	必要な 資金の額 (千円)	調達方法 (千円)					
				公庫	支援 機構	その他の金融 機関	自己 資金	その他	計
非公表									

